【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公開番号】特開2002-230836(P2002-230836A)
【公開日】平成14年8月16日(2002.8.16)
【出願番号】特願2001-26169(P2001-26169)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　7/24
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５３５Ｆ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５３１Ｅ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５７１Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月7日(2003.11.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
中央部にクランプエリアが形成された支持基盤上に、少なくとも、情報記録層、透明な読出し層が順次形成された光ディスクにおいて、
前記情報記録層は、前記クランプエリアの外周側に形成され、かつ前記クランプエリアは、前記透明な読出し層に覆われていないことを特徴とする光ディスク。
【請求項２】
前記クランプエリアは、前記支持基盤の両面に形成されていることを特徴とする請求項１記載の光ディスク。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
【課題を解決するための手段】
請求項１に規定する発明は、中央部にクランプエリアが形成された支持基盤上に、少なくとも、情報記録層、透明な読出し層が順次形成された光ディスクにおいて、前記情報記録層は、前記クランプエリアの外周側に形成され、かつ前記クランプエリアは、前記透明な読出し層に覆われていないことを特徴とする光ディスクである。
この場合、例えば請求項２に規定するように、前記クランプエリアは、前記支持基盤の両面に形成されている。
これによれば、ディスク構造が異なってもクランプエリアの厚さ変化をなくして、しかも平坦度を向上でき、従って、位置精度良く保持することが可能となる。